



校長の目 ～西小日々通信～

令和5年5月25日（木）



朝の業前活動は、運動会の応援練習でした。応援団が、各クラスへ応援のやり方を教えに行きます。応援団に立候補する子供たちはみんなやる気に満ちています。応援シナリオも自分たちで考えました。1年生から6年生まで楽しくてアピール力のある内容を工夫しています。写真は1年生のクラスの様子です。応援団2名が、1年生にわかりやすく教えていました。1年生たちも笑顔で元気よく応援練習に取り組むことができました。応援合戦が今から楽しみです。



20分休みは対抗リレーのリハーサルを行いました。これまでチームごとに練習をしてきましたが、今日は、赤・青・黄の3チームで入場、競技、退場まで通して練習しました。リハーサルといえども、真剣勝負です。緊張も手伝って、うまくバトンパスができなかったり、インコースをとれなかったりした場面も見られました。負けたチームは悔しかったと思います。改善すべき課題が見えたりリハーサルでした。明日からまた練習を積み重ねていきます。



2年生の教室から鍵盤ハーモニカの音がよく聞こえてきます。音楽の授業です。先生がタンギングのやりかたを演示しているところでした。感染予防対策をしているときは、机にアクリル板を置いていました。今は、音を遮るものがないので、鍵盤ハーモニカの音色がよく響くように感じられます。器楽は、自分の楽器の音だけでなく、周りの音も聞きながら演奏することが大切です。教育活動の一つ一つが、以前の形を取り戻していることを実感し、感慨深いです。



6校時は運動会の係打ち合わせでした。運動会は、高学年の子供たちがさまざまな役割を担い、運営を行います。競技や演技に全力を尽くすのは当然ですが、自分たちの運動会を自分たちの手でつくり上げるということを通して、子供たちは大きく成長します。係ごとに集まって、細かな打ち合わせをしましたが、授業より真剣かもしれません。応援団は、4年生から参加しますので、団員の4年生たちは残って練習をしました。

